

# 障害のある若者たち

学び 就労 余暇

## 第8回

### なかまと学び合い、みんなと勇気を育み、一緒に成長する、大切な居場所

和歌山 ゆめ・やりたいこと実現センター 尾方千春

#### 今月のテーマ

第8回からのテーマは「余暇」です。和歌山のゆめ・やりたいこと実現センターでは、青年たちのゆめややりたいことを大切にさまざまな活動をしています。アフターファイブや休日に、思いを受け止めてくれるスタッフと一緒に学び合える仲間がいるなかで、自信をつけていく青年たちの話です。

講座で作成した「ゆめ・やりたいこと実現センター」の横断幕と一緒に



社会福祉法人「麦会（麦の郷）」「ゆめ・やりたいこと実現センター」は、文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」を受託し、2018年8月よりスタートさせました。

障害のある人が学校を卒業してからも、好きなことや得意なことを新しく見つけながら、それぞれの「ゆめ」や「やりたいこと」を実現できるようにサポートをしています。「学び合い」そして「創り合う」をテーマに、さまざまな障害のある当事者が自分の人生の主人公になるよう「やりたいこと」を（提案・企画・実現！）みんなで創る活動」として、①夕刻のたまり場（居場所）、②やりたいこと講座、③つばやきサポート（相談支援）、④逸材発掘・人材バンクの4つを大きな柱にして活動をしています。

#### 夕刻のたまり場・やりたいこと講座

私たちの拠点となっているのは、JR和歌山線粉河駅前にある山崎家住宅（2020年7月に国登録有形文化財（建造物）に登録。築百年以上の古民家）です。普段からこの活動のほかにも、ひきこもりサポート事業所「ハートフルハウス創りHAIJIME」として相談・居場所・カフェ営業などをメンバーと行いながら、人々がつながり合う場として地域に根付いています。なつかしさや温もりを感じ古民家で、毎週水曜日16時〜20時に「夕刻のたまり場」をオープンしています。作業所などでの仕事後に、みんなで食べたり、飲んだり、話したり、ゆ

車などで一人で来られ、なかまと過ごす時間を楽しんでいきます。

ある時、昌志さんがマジック講座に参加されました。講師の様子を見ながら上手にマジックができていました。いつもは物静かのみずから人前に出ることが少ない昌志さんですが、「みんなの前でマジックをしてみない？」と声をかけると、自分のタイミングでゆっくり立ち上がり、ハンカチを使い親指がなくなるというむずかしいマジックをニコニコしながら披露して、みんなをびっくりさせました。それをきっかけに50人以上集まる報告会の際にも、昌志さんは「マジシャン」としてその場を楽しませてくれました。いつもの昌志さんからは想像できない堂々と披露する姿に全員が驚き、真冬の寒い会場は柔らかく温かい雰囲気になりました。

「昌志は夕刻のたまり場に参加して変わったのかもしれない」と千珠さん。今では好きな講座に積極的に一人で受講するだけでなく、日常生活でも帰宅の際の新たなバスルートを考え乗車したり、自宅で進んで料理することも増えたそうです。昌志さんが変化したのは、夕刻のたまり場でのゆったりと自由な雰囲気、みずから選んで挑戦する気持ちや勇気をなかまと少しずつ育んだからだと思います。

#### 不安なやみを共有できる 新しいなかまと居場所

「たまり場に参加するようになってから、自分が



マジシャン昌志さん！

つくりできる場を創るとともに、障害のある人のニーズを聞きながら多種多様な講座（防災グッズづくり、二胡演奏会、コーヒーの淹れ方講座など。その他ホームページをぜひご覧ください）を企画し開催しています。

生涯学習の活動をしている地元の講師、団体、ゆめ・やりたいこと実現センター連携協議会委員とで、「こんなことしたい」「あんなこと勉強したい」など、障害のある人のひたむきな思いに寄り添い、そして「みんなと学び合いたい」という講師の熱意をつなぎながら、それぞれのねがいやゆめが実現する講座をみんなで創っています。

#### なかまと育んだ「挑戦する気持ち」と「勇気」

「本人の自信につながっているおかげか、挑戦しよう、やってみよう」という積極的な気持ちが出てきたようです」と、夕刻のたまり場に通い始めてからの息子さんのうれしい変化を語ってくれたのは、新正昌志さんのお母さん・千珠さんです。昌志さんがこの夕刻のたまり場に通うようになったのは、2007年から社会に出た青年たちの余暇、自立を支援していこうと活動を行っている「NPO法人障害者の豊かな青年期を考える会（通称 なまか）」のなかまと千珠さんから、「いっしょに行けへん？」と、声をかけたからでした。昌志さんは新しい環境や活動になじむまで少し時間がかかりましたが、最近ではほぼ毎週、片道1時間以上かけて電